

生ごみを肥料に



宇部日報

3月23日 木曜日

発行所 宇部日报社

本社 〒755-8543 宇部市寿町2丁目3番17号
代表 ☎0836(31)4343

©宇部日报社 2023

総合ギフト **ご出産内祝**
快気祝・ご婚礼引出物
慶弔ギフト(満中陰志)
ゴルフコンペ、グラウンドゴルフ
ボウリング各種景品
宇部市西橋返3丁目12-10
(神原公園交差点東へ100mサンライフ宇部前)
TEL0836-33-5522
☎0836-33-5523

きょうの紙面

- 長南地区高校野球 始まる ②
- 公示地価、県商業地29年ぶり横ばい ③
- 情報やまぐち
- 高校生の刑事裁判体験会 ⑧
- 9道府県知事選が告示 ⑩
- 山陽小野田
- 高千帆小の普通教室棟 完成 ⑪

電子版アクセスラック (昨日分)

- ①17日掲載・21日から長南地区高校野球
- ②20日掲載・4年ぶりくすのきカントリーマラソン
- ③22日掲載・高校サッカーフェスが開幕
- ④22日掲載・モルック普及へ県内初の大会
- ⑤22日掲載・小学校卒業式 写真特集

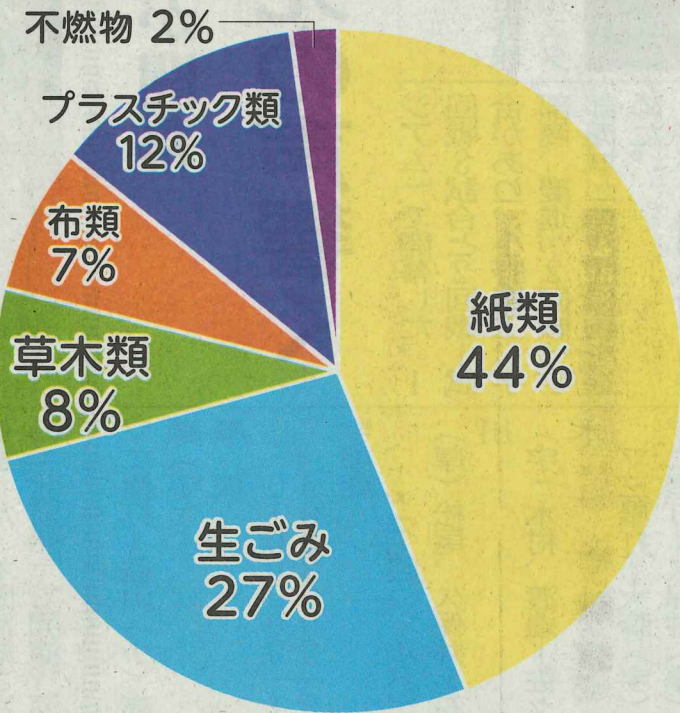
<http://www.ubenippo.co.jp/>

購読のお申し込み 0120-334946
(平日8:30~17:30)

無料化で段ボールコンポスト人気

排出量減へ促進

2021年度 宇部市可燃ごみの内訳



宇部市は、生ごみを処理する段ボールコンポストのキットを今年度から無料提供しており、2月末までに有料だった昨年度の倍以上となる1000個の申し込みがあった。「さらに周知を徹底し、ごみの減量化を進めたい」と関連事業費を新年度予算に上積みした。

段ボールコンポストは、段ボール箱を使った生ごみ分解。3カ月の生ごみ処理容器。ピートモス(泥炭)と、もみ殻くん炭を混ぜた基材が入っている。生ごみを投入すると好気性の微生物が、生ごみを分解。3カ月の投入期間、1カ月の熟成期間を経て有機肥料として利用できるよつにな

市の2021年度のごみ排出量の構成比は、燃やせるごみが85%を占める。その内訳は紙類44%、生ごみ27%、プラスチック類12%、草木類8%、布類7%、その他2%。家庭から出る生ごみを減量しようと、11年度に

段ボールコンポスト事業がスタート。当初は1個1300円で販売していたが、普及を加速させようと19年度から1個600円に値下げ。今年度から無料に切り替えた。市民への提供数は19年度が230個、20年度が540個、21年度が399個。無料になったため22年度(2月末まで)は1000個と一挙に伸びた。利用世帯数は年間平均100世帯で推移していたが、今年度は新規申し込みが増え約600世帯に拡大した。

市のごみ排出量の推移を見ると、17年度の6万2758トに対して21年度は9・3%圧縮されて5万6947トに減量。人口減少が主な要因だが、さまざまな減量啓発効果もあり、1人1日当たりのごみ排出量は17年度の1029gから21年度は963gに減った。市廃棄物対策課「ごみ減量推進係の川口修係長は「全体のごみ排出量を考えると段ボールコンポストによる減量はわずかなものかもしれないが、環境に対する市民の意識向上につながっている。地道な取り組みの輪を広げたい」と期待を寄せる。

段ボールコンポストは各ふれあいセンター、廃棄物対策課(電話34-8247)、市環境衛生連

趣味のガーデニングに活用

西宇部地区 安宗さん

友人に誘われて11年間、段ボールコンポストで生ごみの減量に取り組んでいる西宇部地区の

安宗厚子さん(80)。屋外に置いた3箱をローテーションで回して一年中、堆肥を作り趣味のガーデニングに活用している。「野菜のくずや肉、魚心・安全。何より無料で、生ごみも減るので助かる」と咲き誇ったピオラを前に笑顔を浮かべ

「化学肥料と比べて安心。安全。何より無料で、生ごみも減るので助かる」と咲き誇ったピオラを前に笑顔を浮かべ

(浅野)

11年間、実践を続ける安宗さん(自宅)



合会事務局(同43-7375)の窓口で申請するともらえる。夏場はアブの幼虫が発生することがまれにあるが、虫よけの布で覆っておくと熱で死滅するとい